

## ○九州女子大学人間科学部履修規程

平成13年学園規程第10号

施行：平成13年3月14日

最終改正：令和4年4月1日

### 第1章 総則

(学則との関係)

**第1条** 人間科学部（以下「本学部」という。）の授業科目の履修については、学則に定めるもののほか、この履修規程による。

(学科、専攻及びコース)

**第2条** 本学部には次の学科、専攻及びコースを置く。

学 科	専 攻	コ ー ス
人間発達学科	人間発達学専攻	児童発達コース 乳幼児発達コース
	人間基礎学専攻	心理学コース 国語・書道コース 図書館・情報コース

2 各専攻のコースへの所属は、別に定める手続きを経て、2年次の学年初めに決定する。

(教職課程、図書館司書課程及び学校図書館司書教諭課程)

**第3条** 教育職員免許状（以下「教員免許状」という。）を得ようとする者は、教職課程履修願を提出し、教職課程履修登録を行わなければならない。

2 教職課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

3 図書館司書課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

4 学校図書館司書教諭課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

### 第2章 履修

(単位区分と年次配当)

**第4条** 卒業資格を得るための、単位修得区分及び授業科目の年次配当は、別表1から別表5による。

(授業科目の区分と種類)

**第5条** 本学部の授業科目は、総合共通科目、専門教育科目及び留学生特別科目に区分する。

2 前項の授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に分類する。

- 3 必修科目は、卒業までにすべて修得しなければならない。
- 4 選択科目は、卒業資格を得るための最低修得単位数を超えるように修得しなければならない。
- 5 自由科目の修得単位数は、卒業資格を得るための単位数に算入できない。
- 6 留学生特別科目（別表5）は、外国人留学生を対象として特別に開講する科目である。留学生が修得した留学生特別科目の単位は、学長の承認により、総合共通科目、専門教育科目と読み替え、または科目区分の単位数に算入することができる。  
(授業科目等の公示)

**第6条** 開講する授業科目、担当教員及び授業時間割等は年度初めに公示する。

(授業の出欠席と公認欠席)

**第7条** 授業に際しては、出席の確認を行う。

- 2 授業を欠席するとき又はしたときは、欠席届を担当教員に提出しなければならない。
- 3 病気その他の事故のため、欠席が1週間以上にわたるときは、欠席届に医師の診断書を添付し、担当教員に提出しなければならない。
- 4 次の各号に該当するものは、公認欠席（以下「公欠」という。）とする。

(1)忌引

父母（7日）、祖父母・兄弟姉妹（3日）、叔父叔母・伯父伯母（2日）

(2)出校停止

学校保健安全法で定められた疾病について定められた期間

(3)学外実習（遠距離移動日を1日含む）

(4)交通スト、交通機関の事故

(5)就職試験、対外試合、発表会

- 5 定期の学外実習を除いて、公欠に際しては、公欠願を提出しなければならない。

(履修制限)

**第8条** 各年次に履修できる単位数の上限は、次のとおりとする。

学 年	1年次	2年次	3年次	4年次
単位数	48	48	48	48

ただし、成績優秀者等の履修上限については48単位を超えて履修を認めることができる。

- 2 前項の履修できる単位数には、地域臨地研究、海外語学研修、海外臨地研究、自由科目及び他専攻履修科目は含まない。

(履修申告)

**第9条** 当該年度に受講を希望する授業科目の履修申告（履修登録）は、所定の期間内に別に定める手続を経て、届け出なければならない。

- 2 履修申告していない授業科目については、受講しても単位を修得することはできない。
- 3 単位を修得した授業科目は、再び受講することはできない。
- 4 履修申告した授業科目の変更は、変更期間内に申告しなければならない。
- 5 履修申告は、授業科目年次配当表に従って行うものとし、上級年次配当の授業科目履修申告は、原則としてこれを認めない。

（授業科目の単位算定の基準）

**第10条** 各授業科目の単位数は、1単位の履修時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを基準とし、授業方法に応じて次のとおり単位数を定める。ただし、1時限（90分）を2時間として計算する。

（1）講義については、15時間の授業と30時間の自修をもって1単位とする。

（2）演習については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。

ただし、以下の専攻の科目については、15時間の授業と30時間の自修をもって1単位とする。

人間発達学専攻 「図画工作」「体育」「器楽基礎」「声楽基礎」「保育内容（言葉）」「保育内容（人間関係）」「子どもの理解と援助」「保育内容総論」「国語科指導法」「社会科指導法」「算数科指導法」「理科指導法」「図画工作指導法」「生活科指導法」「家庭科指導法」「体育科指導法」「音楽科指導法」「器楽応用」「児童英語指導法」「造形演習」「乳児保育演習」「子どもの食と栄養」「子どもの健康と安全」「保育内容（音楽表現）」「保育内容（造形表現）」「保育内容（健康）」「保育内容（環境）」「障害児保育」「リトミック」「養護内容」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ（保育所）」「保育実習指導Ⅲ（施設）」「保育相談論（カウンセリングを含む。）」「子育て支援演習」「保育実践演習」「教職実践演習（初等）」「総合演習」

人間基礎学専攻 「心理学統計法Ⅰ」「心理学統計法Ⅱ」「心理的アセスメント」「心理演習」「日本古典文学演習」「教職実践演習（中等）」「総合演習」

（3）実験・実習については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。

ただし、以下の科目については、45時間の授業をもって1単位とする。

「保育所実習Ⅰ」「保育所実習Ⅱ」「施設実習Ⅰ」「施設実習Ⅱ」

（4）実技については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。

（5）一つの授業科目について、前各号の規定する授業方法のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、それぞれの授業方法ご

との単位数の算定基準を考慮して定める時間の授業をもって1単位とする。

(6) 前各号の規定にかかわらず、卒業研究論文の授業科目については、その学修の成果を評価するものとし、所定の単位を与える。

(受講制限)

**第11条** 授業科目はその内容、教室の収容定員等により受講人数を制限することがある。

(欠講)

**第12条** 授業科目の一部については、年度によって開講しないことがある（隔年開講等）。

(履修登録科目の単位の認定)

**第13条** 履修した科目の単位の認定は、各授業科目担当教員が平素の研究状況、授業期間中の評価及び試験（追試験、再試験を含む。）等を総合的に判断して評価し、合格した者には、その履修科目の所定の単位が与えられる。

2 学納金を滞納している者は、単位認定を受けることはできない。

3 単位認定された科目は、取り消すことはできない。

4 単位認定及び成績評価については、年度末に確定する。原則としてそれ以降の変更は行わないものとする。

(成績の評価)

**第14条** 履修科目の単位認定における成績の評価は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。

2 前項の評価は次の基準による。

(1) 秀 100点～90点

(2) 優 89点～80点

(3) 良 79点～70点

(4) 可 69点～60点

(5) 不可 59点以下

3 前項の成績の評価は、秀又はS、優又はA、良又はB、可又はC及び不可又はDの評語をもって表す。

(試験)

**第15条** 試験は授業期間中の試験、追試験、再試験とする。

2 授業科目担当教員の判断により、学期内に小試験、臨時試験を行うことができる。

3 課題レポート、口頭発表、制作作品等をもって試験に替えることができる。

(受験資格)

**第16条** 次の各号のいずれかに該当する者は、全部又は当該科目について、受験することができない。

- (1) 試験を受けようとする授業科目をその年度において履修登録をしていない者
- (2) 既に修得した授業科目を再び受験しようとする者（当該科目）
- (3) 授業料その他学納金を滞納している者（全科目）ただし、納入延期を認められた者は、仮に受験を認める。
- (4) 授業科目の受講回数が開講回数の3分の2に満たない者（当該科目）
- (5) 受験中に学生証又は仮学生証を持参していない者（当該科目）
- (6) 試験開始後20分以上遅刻した者（当該科目）
- (7) 追・再試験に際して、追再試受験料納付書の領収書を持参していない者あるいはレポートの場合に領収書のコピーを添付していない者（当該科目）

（受験上の注意）

**第17条** 試験場においては、次の諸注意に従わなければならない。

- (1) 試験場には、学生証又は仮学生証を携行しなければならない。
- (2) 試験中、監督の指示に従わなければならない。
- (3) 答案用紙は、たとえその試験を放棄する場合でも必ず提出しなければならない。
- (4) その他、受験上の注意事項は、別に定める。

（試験の不正行為）

**第18条** 試験において不正行為があった者は、当該期の全科目の単位を無効とする。

2 特に悪質であった者に対しては、学則第50条により処分する。

（追試験）

**第19条** 授業期間中の試験の公欠（以下「特別公欠」という。）及び病気その他やむを得ない理由により、試験を受けることができなかった者が、その旨願い出た場合は、当該科目の追試験をおこなう。

- 2 追試験を受けようとする者は、その理由を証明する診断書又は適当な書類を添付した追試受験料納付書に追試験料を添えて提出しなければならない。
- 3 追試験料については、別に定める。ただし、特別公欠者の追試験料は免除する。
- 4 追試験は、期日を定めて1回限りおこなう。
- 5 追試受験料納付書の領収書は受験の際に提示すること。また、レポートの場合は、領収書のコピーを添付して提出すること。
- 6 追試験の評価は次のとおりとする。
  - (1) 特別公欠者の評価点は、試験の得点の100%とする。

(2) 病欠者等の評価点は、試験の得点の80%とする。

(再試験)

**第20条** 授業期間中の評価で不合格の授業科目があった者及び追試験の受験要件に該当しない理由で受験しなかった者については、担当教員の判断により、当該科目の再試験をおこなう場合がある。

- 2 再試験の実施の有無については、シラバス及び授業中の担当教員からの指示による。
- 3 再試験を受けようとする者は、再試受験料納付書に再試験料を添えて提出しなければならない。
- 4 再試験料については、別に定める。
- 5 再試験は、期日を定めて1回限りおこなう。
- 6 再試受験料納付書の領収書は受験の際に提示すること。また、レポートの場合は、領収書のコピーを添付して提出すること。
- 7 再試験の評価は試験の得点の80%とし、評価点は最高60点とする。

(他の学部又は本学部他専攻の授業科目の履修)

**第21条** 他の学部の授業科目を履修しようとする者は、あらかじめ学部長に申し出て、授業科目担当教員の承認及び学長の許可を必要とする。

- 2 前項で修得した単位は、自由科目として、卒業要件単位には算入しない。
  - 3 学生の所属する専攻以外の専攻が開設する専門教育科目のうち、共通開設科目以外の授業科目は別に定める手続きを経て、16単位まで、所属の専攻の卒業要件修得単位数に算入することができる。
  - 4 前項の単位数を超えて修得した授業科目の単位は、卒業要件単位には算入しない。
- (他の大学、短期大学又は大学以外の教育施設等における学生の履修)

**第22条** 他の大学、短期大学又は高等専門学校の特攻科における授業科目の履修は、当該学生の所属する学科において教育上有益と認めるときに限り、学長がこれを許可する。

- 2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。
- (再履修)

**第23条** 単位を修得できなかった授業科目については、再履修することができる。

- 2 再履修を希望する授業科目については、第9条に定める履修申告をしなければならない。

### 第3章 進級・卒業見込み及び卒業研究

(学年の進級)

**第24条** 進級の時期は学年の初めとする。

- 2 2年次から3年次への進級は、学生と教員の面談に基づいて教育運営委員会において審議し、学長が決定する。

(卒業見込証明書)

**第25条** 卒業見込証明書は、前年度末までに自由科目を除く総修得単位数が90単位以上の者に交付することができる。

(卒業研究)

**第26条** 本学部学生は、それぞれの専門分野に関連する事項につき、別に定める手続きを経て、卒業研究論文一編を提出し、審査に合格しなければならない。

- 2 卒業研究論文の取扱いについては別に定める。

#### **第4章 聴講生・特別聴講学生**

(聴講生)

**第27条** 本学部の授業科目の聴講を希望する者に対しては、学長が許可する。

- 2 聴講を許可できる授業科目は、原則として演習科目及び受講生数制限科目以外の全ての科目とする。

(出願の時期及び手続)

**第28条** 聴講生として志願する者は、別に定める所定の期日までに所定の願書を提出しなければならない。

(聴講の許可)

**第29条** 聴講生は、教育研究に支障がない場合に限り、学長が聴講を許可する。

(聴講期間)

**第30条** 聴講生の聴講期間は1年以内とする。

(登録料及び聴講料)

**第31条** 登録料及び聴講料は、学則第63条に定めるところによる。

(聴講科目の制限)

**第32条** 聴講できない授業科目については別に定める。

(聴講生の心得)

**第33条** 聴講生は、学内諸規程を守らなければならない。

- 2 聴講生として不適当であると認められたときは、聴講許可を取り消すことがある。

(特別聴講学生)

**第34条** 特別聴講学生については、別に定める。

#### **第5章 科目等履修生**

(科目等履修生)

**第35条** 学則第55条により授業科目の履修を希望する者に対しては、学長が履修を許可する。

2 履修を許可できる授業科目は、原則として演習科目及び受講生数制限科目以外の全ての科目とする。

3 科目等履修生で、登録科目の試験等に合格した者には所定の単位を与える。

4 単位を修得した授業科目については単位修得証明書を交付することができる。

(科目等履修生の履修資格)

**第36条** 科目等履修生として本学部の授業科目履修を許可される者は、学則第18条に定める資格を有する者及び大学において科目等履修生として適当であると認められた者とする。

(出願の時期及び手続)

**第37条** 科目等履修生として志願する者は、別に定める所定の期日までに所定の願書を提出しなければならない。

(科目等履修生の期間)

**第38条** 科目等履修生の期間は、許可された授業科目の授業が終了する学期末までとする。ただし、引き続き履修を希望する場合は、学長が許可し、その期間を更新することができる。

(科目等履修生の許可)

**第39条** 科目等履修生は、教育研究に支障がない場合に限り、学長が履修を許可する。

(登録料及び履修料)

**第40条** 科目等履修生として本学部の授業科目の履修を許可された者の登録料及び履修料は、学則第63条に定めるところによる。

(履修科目の制限)

**第41条** 科目等履修生は、教職課程の教育実習は履修できない。(ただし本学及び九州女子短期大学卒業生は除く。)

(単位認定)

**第42条** 科目等履修生でその受講した授業科目の試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

2 科目等履修生で本学又は他の大学で単位を修得した者が、本学部の正規の課程に入学した場合、学長が本学部の単位として算入することを認めることができる。

(科目等履修生の心得)

**第43条** 科目等履修生は、学内諸規程を守らなければならない。



- 2 科目等履修生として不適當であると認められたときは、履修許可を取り消すことがある。

**第6章 学士入学、編入学、転入学、再入学、転部、転科及び転コース**

(学士入学者、編入学者、転入学者、再入学者及び転部・転科の単位認定)

- 第44条** 学則第21条、第22条、第23条及び第25条の規定により、学士入学、編入学、転入学及び転部・転科を許可された学生の単位認定は、本学部、学科における授業科目及びその単位数に相当すると認められる場合の単位を認定する。

(入学前の既修得単位等の認定)

- 第45条** 新たに1年次に入学を許可された者で、学則第37条に該当する者は、60単位を超えない範囲で、本学で履修したものとみなし、単位を認定する。

- 2 既修得単位の認定を希望する者は、別に定める所定の期日までに、必要な書類を提出しなければならない。

(転部・転科・コース変更)

- 第46条** 学則第25条の転部は受け入れ学部に欠員があり、学長が承認した場合に限る。

- 2 学則第25条により転科(転専攻を含む)を学部長に申し出た者は、2年次又は3年次の初めに、学長が教育運営委員会の意見を聴いて、認めることができる。ただし、転科は、受け入れ学科・専攻に欠員がある場合に限る。
- 3 2年次に所属を決定した本学部学科専攻のコースの変更は、学長が各年次の初めに認めることがある。

**附 則**

(施行期日)

- 1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 転科者への適用は、平成14年度以降とする。
- 3 学士入学者及び編入学者への適用は平成15年度以降とする。

**附 則**

(施行期日)

- 1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。  
(経過措置)
- 2 この規程は、平成13年度入学生から適用する。

**附 則**

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

**附 則**

(施行期日)

1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 転科者への適用は平成18年度以降とする。

3 学士入学者及び編入学者への適用は平成19年度以降とする。

**附 則**

この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成19年度入学生より適用する。

**附 則**

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

**附 則**

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、海外留学先の大学等の教育施設で修得した単位の認定は、第26条の規定にかかわらず、平成21年度以前の入学者について従前の例による。

**附 則**

この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学生より適用する。

**附 則**

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

**附 則**

(施行期日)

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(授業科目等、卒業資格に関する経過措置)

2 第3条、第4条、第7条及び第34条の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学者については、従前の例による。

**附 則**

(施行期日)

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

(授業科目等に関する経過措置)

- 2 第3条及び第7条の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学者については、従前の例による。

#### 附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和3年度入学者（学士入学者、編入学者で令和3年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

#### 附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和4年度入学者（学士入学者、編入学者で令和4年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

別表1 卒業に要する単位の修得区分

人間発達学科（人間発達学専攻）					
履修区分			卒業要件単位数		
総合共通 科目	教養教育 科目	文化・芸術領域	2単位以上	6単位 以上	30単位以上
		歴史・社会領域	2単位以上		
		人間・環境領域	2単位以上		
	言語・異文化理解科目		8単位以上		
	情報教育科目		2単位以上		
	健康教育科目				
専門教育 科目	キャリア 教育科目	キャリアデザイン領域	1単位	2単位 以上	94単位以上
		キャリア発展領域	1単位		
	共通科目		8単位以上		
	基礎科目、基幹科目、臨地科目、教職関連科目 (所属コースの基礎科目16単位以上、基幹科目20 単位以上)		62単位以上		
	卒業研究		8単位以上		
合計単位数			124単位以上		

人間発達学科（人間基礎学専攻）					
履修区分			卒業要件単位数		
総合共通 科目	教養教育 科目	文化・芸術領域	2単位以上	6単位 以上	30単位以上
		歴史・社会領域	2単位以上		
		人間・環境領域	2単位以上		
	言語・異文化理解科目		8単位以上		
	情報教育科目		2単位以上		
	健康教育科目				
専門教育 科目	キャリア 教育科目	キャリアデザイン領域	1単位	1単位 以上	94単位以上
		キャリア発展領域			
	共通科目		8単位以上		
	基礎科目、基幹科目、臨地科目、教職関連科目 (所属コースの基礎科目16単位以上、基幹科目20 単位以上)		62単位以上		
	卒業研究		8単位以上		
合計単位数			124単位以上		

別表2 総合共通科目年次配当表(人間科学部共通)(1)

区分	授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘要	
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養教育科目	文化・芸術領域	ことばと日本文化	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						※( )はいずれかの時期で履修(以下同様)
	ことばと異文化	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	情報文化論	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	スポーツの文化	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	歴史・社会領域	歴史と国際情勢	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						教免必修
	現代国家と法(日本国憲法)	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	暮らしと経済	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							教免必修
	人権・同和教育	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	人間・環境領域	人間と哲学	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
	生命と地球	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	心の科学	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
	共生社会を生きる	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)							
言語・異文化理解科目	日本語表現法Ⅰ	1			演習	(2)	(2)								
	日本語表現法Ⅱ	1			演習			(2)	(2)						
	伝わる文章力		1		演習			(2)	(2)						
	英語Ⅰ	1			演習	2									
	英語Ⅱ	1			演習		2								
	英語コミュニケーションⅠ	1			演習			2							
	英語コミュニケーションⅡ	1			演習				2						
	TOEIC入門		1		演習	(2)	(2)								
	フランス語Ⅰ	1			演習	(2)		(2)							
	フランス語Ⅱ	1			演習		(2)		(2)						
	中国語Ⅰ	1			演習	(2)		(2)							
	中国語Ⅱ	1			演習		(2)		(2)						
	韓国語Ⅰ	1			演習	(2)		(2)							
	韓国語Ⅱ	1			演習		(2)		(2)						
	イングリッシュワークショップ	1			演習	(2)	(2)	(2)	(2)						
海外研修		2		実習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	年間を通して適切な時期に行う	
情報教育科目	情報処理演習Ⅰ	1			演習	2									
	情報処理演習Ⅱ	1			演習		2								
	情報処理演習Ⅲ		1		演習			2							
	情報処理演習Ⅳ		1		演習				2						
健康教育科目	スポーツ		1		実技	(2)	(2)							教免必修	
	健康の科学		2		講義	(2)	(2)							教免必修	

別表2 総合共通科目年次配当表(人間科学部共通)(2)

区分	授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘要	
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
キャリア教育科目 キャリア発展領域	キャリアデザインⅠ	1			演習	2									} 年間を通して適切な時期に行う
	キャリアデザインⅡ		1		演習					2					
	キャリアデザインⅢ		1		演習						2				
	インターンシップⅠ		2		実習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	インターンシップⅡ		2		実習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	スキルアップ講座A		1		演習					2					人間基礎学専攻に開講 人間基礎学専攻に開講 人間発達学専攻に開講 人間発達学専攻に開講 人間発達学専攻に開講 人間発達学専攻に開講 人間発達学専攻に開講 人間発達学専攻に開講 人間発達学専攻に開講
	スキルアップ講座B		1		演習			2							
	スキルアップ講座C		1		演習				2						
	スキルアップ講座D		1		演習					2					
	スキルアップ講座E		1		演習						2				
	スキルアップ講座F		1		演習				2						
	スキルアップ講座G		1		演習					2					
	スキルアップ講座H		1		演習						2				
	スキルアップ講座I		1		演習							2			
	スキルアップ講座J	1			演習		2								
	スキルアップ講座O		1		演習		2								
	スキルアップ講座R		1		演習					(2)		(2)			
	スキルアップ講座S		1		演習						(2)		(2)		
	スキルアップ講座T		1		演習				2						

別表3 人間発達学科 人間発達学専攻 専門教育科目年次配当表(1)

区分	授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘要		
						1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通科目	人間概論	2			講義	2										
	文学概論	2			講義		2									
	日本文化論	2			講義	2										
	言語学概論	2			講義		2									
	心理学概論	2			講義	2										
	発達心理学	2			講義	2										
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団心理学)	2			講義		2									
	健康・医療心理学	2			講義		2									
基礎科目	国語科教育概論(書写を含む。)	2			講義	2										※【基礎科目】 2年次初めに 選択したコ ースの履修 方法に従い、 基礎科目群 の主分野か ら16単位以 上を修得す ること。
	算数科教育概論	2			講義		2									
	生活科教育概論	2			講義			2								
	社会科教育概論	2			講義		2									
	図画工作	2			演習		2									
	理科教育概論	2			講義			2								
	家庭科教育概論	2			講義				2							
	体育	2			演習				2							
	器楽基礎	2			演習				2							
	声楽基礎	2			演習					2						
	保育者論	2			講義	2										
	保育原理Ⅰ	2			講義	2										
	保育原理Ⅱ	2			講義		2									
	児童福祉Ⅰ	2			講義	2										
	児童福祉Ⅱ	2			講義			2								
	子ども保健学Ⅰ	2			講義		2									
	子ども保健学Ⅱ	2			講義			2								
	保育内容(言葉)	2			演習		2									
	保育内容(人間関係)	2			演習			2								
	養護原理	2			講義			2								
	社会福祉原論	2			講義			2								
	乳幼児心理学	2			講義				2							
	子どもの理解と援助	2			演習					2						
	保育内容総論	2			演習				2							
	特別支援教育の理解(障害児支援教育)	2			講義	2										
	障害者教育総論Ⅰ	2			講義	2										
	障害者教育総論Ⅱ	2			講義		2									
	病弱教育	2			講義			2								
知的障害者の心理・生理・病理	2			講義				2								

別表3 人間発達学科 人間発達学専攻 専門教育科目年次配当表(2)

区分	授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘要	
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
児童発達	国語科指導法			2	演習			2							※【基幹科目】 2年次初めに 選択したコ ースの履修 方法に従い、 基幹科目群 の主分野か ら20単位以 上を修得す ること。
	社会科指導法			2	演習			2							
	算数科指導法			2	演習			2							
	理科指導法			2	演習				2						
	図画工作指導法			2	演習			2							
	生活科指導法			2	演習					2					
	家庭科指導法			2	演習					2					
	体育科指導法			2	演習					2					
	音楽科指導法			2	演習					2					
	器楽応用			2	演習						2				
	児童英語概論			2	講義						2				
	児童英語指導法			2	演習							2			
造形演習			2	演習								2			
基幹科目 乳幼児発達	教育課程・保育計画総論			2	講義				2						
	家庭支援の心理学			2	講義		2								
	乳児保育論			2	講義			2							
	乳児保育演習			2	演習				2						
	子どもの食と栄養			2	演習			2							
	子どもの健康と安全			2	演習				2						
	保育内容(音楽表現)			2	演習			2							
	保育内容(造形表現)			2	演習				2						
	保育内容(健康)			2	演習						2				
	保育内容(環境)			2	演習						2				
	家庭支援論			2	講義						2				
	障害児保育			2	演習						2				
	リトミック			2	演習					2					
	養護内容			2	演習						2				
	保育実習指導Ⅰ			2	演習							2			
	保育実習指導Ⅱ(保育所)			2	演習								2		
	保育実習指導Ⅲ(施設)			2	演習									2	
	保育所実習Ⅰ			2	実習						*	*			
	保育所実習Ⅱ			2	実習								*	*	
	施設実習Ⅰ			2	実習								*	*	
	施設実習Ⅱ			2	実習								*	*	
	保育相談論(カンゼンを含む。)			2	演習				2						
	子育て支援演習			2	演習								2		
保育実践演習			2	演習									2		
特別支援教育	知的障害者教育			2	講義			2							
	発達援助の技法			2	講義			2							
	肢体不自由者の心理・生理・病理			2	講義			2							
	肢体不自由者教育			2	講義				2						
	肢体不自由者支援学			2	講義					2					
	軽度発達障害教育総論			2	講義					2					
	病弱者の心理・生理・病理			2	講義					2					
	障害者の病理・保健			2	講義					2					
	知的障害者支援学			2	講義						2				
	視覚障害教育総論			2	講義						2				
	聴覚障害教育総論			2	講義							2			
重複障害教育総論			2	講義							2				



別表3 人間発達学科 人間発達学専攻 専門教育科目年次配当表(3)

区分	授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘要		
						1年		2年		3年		4年				
		必修	選択	自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
卒業研究	卒業研究演習Ⅰ	1			演習						2					
	卒業研究演習Ⅱ	1			演習							2				
	卒業研究演習Ⅲ	1			演習								2			
	卒業研究演習Ⅳ	1			演習									2		
	卒業研究論文	4			演習									4	4	
臨地科目	臨地研究入門		2		講義	2										
	地域臨地研究		2		実習		(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
	海外臨地研究		2		実習		(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
	海外語学研修Ⅰ		2		実習					(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
	海外語学研修Ⅱ		2		実習					(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
教職関連科目	教職概論		2		講義	2										
	教育原論(教育史を含む。)		2		講義		2									
	教育心理学		2		講義		2									
	教育制度論		2		講義					2						
	教育法規		2		講義					2						
	特別支援教育論		2		講義					2						
	教育課程論(初等)		2		講義			2								
	道徳教育指導法(初等)		2		講義					2						
	総合的な学習の時間指導法		2		講義					2						
	特別活動指導法(初等)		2		講義					2						
	教育方法・技術論(情報通信技術の活用を含む。)		2		講義					2						
	児童・進路指導		2		講義						2					
	児童・教育相談論		2		講義						2					
	初等教育実習事前事後指導		1*		講義										1	
	初等教育実習Ⅰ		2		実習								*	*		
	初等教育実習Ⅱ		2		実習								*	*		
	特別支援学校教育実習事前事後指導		1*		講義										1	
特別支援学校教育実習		2		実習								*	*			
教職実践演習(初等)		2		演習										2		
総合演習		2		演習				2								
図書館司書課程	図書館情報資源概論			2	講義		2									
	図書館サービス概論			2	講義			2								
	図書館制度・経営論			2	講義						2					
	図書館サービス特論・図書館情報資源特論			2	講義									2		
	図書及び図書館史・図書館基礎特論			2	講義									2		
学校図書館司書課程	学校経営と学校図書館			2	講義						2					
	学校図書館メディアの構成			2	講義						2					
	情報メディアの活用			2	講義							2				
	学習指導と学校図書館			2	講義									2		
	読書と豊かな人間性			2	講義									2		

[注意] 原則として、授業科目の各週授業時間数は1回2時間(1時限90分授業で換算)、1学期15回30時間です。ただし、教職及び司書課程科目の単位数に\*印のついた科目は1学期15時間です。

別表4 人間発達学科 人間基礎学専攻 専門教育科目年次配当表 (1)

区分	授業科目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘 要		
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
共通科目	人間学概論		2		講義	2										
	文学概論		2		講義		2									
	日本文化論		2		講義	2										
	言語学概論		2		講義		2									
	心理学概論		2		講義	2										
	発達心理学		2		講義	2										
	社会・集団・家族心理学Ⅰ(社会・集団心理学)		2		講義			2								
	健康・医療心理学		2		講義			2								
基礎科目	心理学	知覚・認知心理学Ⅰ(知覚心理学)	2		講義	2									※【基礎科目】 2年次初めに選択したコースの履修方法に従い、基礎科目群の主分野から16単位以上を修得すること。	
		学習・言語心理学	2		講義		2									
		臨床心理学概論	2		講義		2									
		知覚・認知心理学Ⅱ(認知心理学)	2		講義			2								
		心理学研究法	2		講義			2								
		コミュニケーション概論	2		講義				2							
		心理学的支援法	2		講義				2							
		心理学統計法Ⅰ	2		演習			2								
		心理学統計法Ⅱ	2		演習				2							
		心理学実験Ⅰ	2		実験				4							
	心理学実験Ⅱ	2		実験					4							
	障害者・障害児心理学	2		講義			2									
	感情・人格心理学	2		講義		2										
	国語・書道	日本語学概論(音声言語を含む。)	2		講義	2										
		日本文学概論	2		講義		2									
		日本古典文学史Ⅰ	2		講義	2										
		日本古典文学史Ⅱ	2		講義		2									
		楷書法Ⅰ	1		実技	2										
		楷書法Ⅱ	1		実技			2								
		行草書法Ⅰ	1		実技		2									
行草書法Ⅱ		1		実技				2								
日本語文法		2		講義			2									
日本近現代文学史Ⅰ		2		講義			2									
日本近現代文学史Ⅱ	2		講義				2									
中国文学史	2		講義				2									
書道表現研究	1		演習			2										
書写書道Ⅰ	1		実技			2										
書写書道Ⅱ	1		実技					2								
図書館・情報	情報科学概論	2		講義	2									図書館司書必修 図書館司書必修		
	情報社会論	2		講義	2											
	メディア表現研究	1		演習		2										
	図書館概論	2		講義	2											
	生涯学習概論	2		講義		2										
	情報経営学概論	2		講義			2									
	アルゴリズムとプログラム	2		講義			2									
	情報と職業	2		講義				2								
データ処理論	2		講義				2									

別表4 人間発達学科 人間基礎学専攻 専門教育科目年次配当表 (2)

区分	授業科目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘 要	
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
心理学	社会調査法		2		講義			2							※【基幹科目】 2年次初めに選択 したコースの履修 方法に従い、基幹 科目群の主分野か ら20単位以上を修 得すること。
	心理的アセスメント		2		演習			2							
	神経・生理心理学		2		講義					2					
	教育・学校心理学		2		講義				2						
	社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族心理学)		2		講義					2					
	心理演習		2		演習					2					
	精神疾患とその治療		2		講義						2				
	人体の構造と機能及び疾病		2		講義			2							
	福祉心理学		2		講義				2						
	産業・組織心理学		2		講義				2						
	司法・犯罪心理学		2		講義						2				
	公認心理師の職責		2		講義							2			
関係行政論		2		講義							2				
心理実習		2		実習			*	*	*	*	*	*	*		
国語・書道	文章表現		2		講義					2					
	日本語史		2		講義						2				
	日本古典文学Ⅰ		2		講義					2					
	日本古典文学Ⅱ		2		講義						2				
	日本古典文学演習		2		演習						2				
	日本近現代文学Ⅰ		2		講義					2					
	日本近現代文学Ⅱ		2		講義						2				
	漢文学Ⅰ		2		講義					2					
	漢文学Ⅱ		2		講義						2				
	中国書道史		2		講義					2					
	日本書道史		2		講義						2				
	書論		2		講義					2					
	鑑賞		2		講義						2				
	篆隸書法Ⅰ		1		実技					2					
	篆隸書法Ⅱ		1		実技							2			
	仮名書法Ⅰ		1		実技					2					
	仮名書法Ⅱ		1		実技								2		
	漢字仮名交じり書法Ⅰ		1		実技					2					
漢字仮名交じり書法Ⅱ		1		実技								2			
図書館・情報	マルチメディア処理論		2		講義				2						
	マルチメディア処理演習		1		演習				2						
	情報ネットワーク		2		講義					2					
	情報ネットワーク演習		1		演習					2					
	情報処理技術		2		講義					2					
	情報処理実習		2		実習						4				
	データ処理演習		1		演習						2				
	情報資源組織論		2		講義			2						図書館司書必修	
	情報資源組織演習Ⅰ		1		演習			2						図書館司書必修	
	情報資源組織演習Ⅱ		1		演習				2					図書館司書必修	
	情報サービス論		2		講義				2					図書館司書必修	
	情報サービス演習Ⅰ		1		演習					2				図書館司書必修	
情報サービス演習Ⅱ		1		演習						2			図書館司書必修		
児童サービス論		2		講義							2		図書館司書必修		
図書館情報技術論		2		講義				2					図書館司書必修		

別表4 人間発達学科 人間基礎学専攻 専門教育科目年次配当表 (3)

区分	授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘要		
		必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
卒業研究	卒業研究演習Ⅰ	1			演習					2						
	卒業研究演習Ⅱ	1			演習						2					
	卒業研究演習Ⅲ	1			演習							2				
	卒業研究演習Ⅳ	1			演習								2			
	卒業研究論文	4			演習								4	4		
臨地科目	臨地研究入門		2		講義	2										
	地域臨地研究		2		実習	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
	海外臨地研究		2		実習	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
	海外語学研修Ⅰ		2		実習					(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
	海外語学研修Ⅱ		2		実習					(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)	(*)
教職関連科目	教職概論		2		講義	2										
	教育原論		2		講義		2									
	教育心理学		2		講義		2									
	生徒・教育相談論		2		講義						2					
教職に関する専門教育科目	教育史		2		講義									2		
	教育行政学		2		講義					2						
	教育法規		2		講義						2					
	特別支援教育論		2		講義					2						
	教育課程論(中等)		2		講義		2									
	国語科教育法Ⅰ		2		講義		2									
	国語科教育法Ⅱ		2		講義			2								
	国語科教育法Ⅲ		2		講義				2							
	国語科教育法Ⅳ		2		講義					2						
	書道科教育法Ⅰ		2		講義					2						
	書道科教育法Ⅱ		2		講義						2					
	道徳教育指導法(中等)		2		講義				2							
	特別活動・総合的な学習の時間指導法		2		講義				2							
	教育方法学(情報通信技術の活用を含む。)		2		講義					2						
	生徒・進路指導		2		講義								2			
	中等教育実習事前事後指導		1*		講義									1		
	中等教育実習Ⅰ		2		実習								*	*		
中等教育実習Ⅱ		2		実習								*	*			
教職実践演習(中等)		2		演習										2		
総合演習		2		演習			2									
図書館司書課程	図書館情報資源概論		2		講義		2									
	図書館サービス概論		2		講義			2								
	図書館制度・経営論		2		講義					2						
	図書館サービス特論・図書館情報資源特論		2		講義									2		
	図書及び図書館史・図書館基礎特論		2		講義									2		
学校図書館司書課程	学校経営と学校図書館		2		講義					2						
	学校図書館メディアの構成		2		講義						2					
	情報メディアの活用		2		講義							2				
	学習指導と学校図書館		2		講義								2			
	読書と豊かな人間性		2		講義									2		

[注意] 原則として、授業科目の各週授業時間数は1回2時間(1時限90分授業で換算)、1学期15回30時間です。ただし、教職及び司書課程科目の単位数に\*印のついた科目は1学期15時間です。

別表5 留学生特別科目年次配当表（人間科学部共通）

授業科目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎週授業時間数								摘 要
	必修	選択	自由		1年		2年		3年		4年		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
初級日本語ⅠA		2		演習	(4)	(4)							※この区分科目は留学生のみ履修可能。
初級日本語ⅡA		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅠB		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅡB		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅠC		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅡC		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅠD		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅡD		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅠE		2		演習	(4)	(4)							
初級日本語ⅡE		2		演習	(4)	(4)							
日本語講座Ⅰ		2		講義	2								
日本語講座Ⅱ		2		講義		2							
日本事情Ⅰ		2		講義	2								
日本事情Ⅱ		2		講義		2							
比較文化Ⅰ		2		講義			2						
比較文化Ⅱ		2		講義				2					